

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域ゆかりの

偉人・賢人特集

いじん けんじん とくしゅう



かつやく とし
活躍した年:

1885~1959年



かつやく ぶんや
活躍した分野:

うんどうか
運動家



ゆかりのある場所:

ふじいれきしきんぞくしりようかん
・芳井歴史民俗資料館



うちやま

内山

かんぞう

完造

新 高 総 早 倉 矢
見 梁 社 島 敷 掛
市 市 市 町 市

井
原
市

浅 里 笠
口 庄 岡
市 町 市



うちやまかんぞう めいじ ねん いま いばらしよしちよう よしい う
内山完造は、明治18（1885）年、今の井原市芳井町吉井に生まれました。

たいしやうがん ねん きやうにゆうしん よくねん きやうときやうかい まきのぼくし しょうかい
大正元（1912）年にキリスト教に入信し、その翌年に京都教会の牧野牧師の紹介がき

めくすり かいしや さんてんどう いま さんてんせいやく はい
かけで、目薬の会社である参天堂（今の参天製薬）に入りました。

かんぞう さんてんどうめくすり ちゅうごく こうごく はんばい まか しゃんはい いじゅう かんぞう くすり
完造は、参天堂目薬の中国での広告と販売を任せられ、上海へ移住しました。完造が、薬
の ころ ちゅうごくたいわん である る す あいだ つま にほん さんびか せいしよ
売り込みのために中国や台湾に出歩いている留守の間、妻のみきが日本から賛美歌や聖書

と よ ざいりゅうほうしん かいがい す にほんじん う こうひよう あと
を取り寄せて在留邦人（海外に住んでいる日本人）に売ったところとても好評でした。その後、

かんぞう くすり はんばい ぶんがくしよ ざっし せんもんしよ しい うちやましよてん みせ
完造も薬の販売のかたわら文学書、雑誌、専門書を仕入れるようになり、内山書店として店

ひら せんじちゅう にほんじん ちゅうごくしん ちようせんじん くべつ あきな おこな うちやましよてん
を開きました。戦時中も日本人、中国人、朝鮮人の区別なく商いを行ったため、内山書店は

きゅうせいちよう と すうねんご しゃんはいすいichi にほんしよしよてん せいちよう
急成長を遂げ、数年後には上海随一の日本書店に成長しました。

うちやましよてん ほん か ひと ひと ちゃ の たの
また、内山書店は、本を買いにくる人だけでなく、たくさんの方がお茶を飲みながら楽し

かた あ にっちゅうぶんがこうりゅう まどくち ゆうめい るしん ちゅうごく ぶん
く語り合うことができる、日中文化交流の窓口としても有名で、魯迅など中国のすぐれた文

がくしや おとす こうりゅう ふか
学者も訪れ、交流を深めました。

しょうわ ねん はいせん どうじ うちやましよてん ちゅうごく と あ かんぞう にほん
昭和20（1945）年の敗戦と同時に、内山書店は中国に取り上げられ、完造も日本へ

きやうせいてき おく かえ きこくご ちゅうごく ちゅうごくしん りかい ぜんごく
強制的に送り帰されましたが、帰国後は中国と中国人を理解してもらうため全国をまわって

こうえんかつどう にほん ちゅうごく ゆうこうかんけい かいふく うた つづ
講演活動し、日本と中国の友好関係の回復を訴え続けました。

しょうわ ねん にっちゅうゆうこうきやうかい しよだいいりじちよう しゅうにん にほんぜんごく
昭和25（1950）年に日中友好協会ができると初代理事長に就任し、日本全国を20

かいいじよう ある にっちゅうゆうこうかつどう み な つづ
00回以上くまなく歩き、日中友好活動に身を投げ続けました。